

# 安全データシート

## 1. 化学品および会社情報

品名：フリーフローシステム専用接着剤

社名：フジ化学工業株式会社

住所：福井県福井市三十八社町 33-66

担当：メンテナンスシステム部

電話：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2017年6月7日 改定：2020年1月15日

## 2. 危険有害性の要約

### <GHS 分類>

物理化学的危険性：

- ・ いずれの項目も区分外、分類対象外、または分類できない。

健康に対する有害性：

- ・ 皮膚腐食性または皮膚刺激性：区分 2
- ・ 眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性：区分 2A
- ・ 呼吸器感作性：区分 1
- ・ 皮膚感作性：区分 1
- ・ 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 -：区分 3（気道刺激性）
- ・ 特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 -：区分 1（呼吸器）
- ・ その他の項目は、区分外、分類対象外、または分類できない。

環境に対する有害性：

- ・ いずれの項目も分類できない。

### <GHS 表示>

シンボル：健康有害性 / 感嘆符

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

[H315] 皮膚刺激。

[H317] アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

[H319] 強い眼刺激。

[H334] 吸入するとアレルギー、ぜん息、呼吸困難を起こすおそれ。

[H335] 呼吸器への刺激のおそれ。

[H372] 長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器の障害。

### <注意書き>

安全対策：

[P260] 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。

[P264] 取り扱い後は、よく手と眼を洗う。

[P270] 本品を使用するとき、飲食または喫煙をしない。

[P271] 屋外、または換気の良い場所でのみ使用する。

[P272] 汚染された作業衣は作業場から出さない。

[P280] 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。

[P284] 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。

応急措置：

[P302+P352] 皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗う。

[P304+P340] 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

[P305+P351+P338] 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズ<sup>g</sup>を着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

[P312] 気分が悪いとき、医師に連絡する。

[P333+P313] 皮膚刺激、または発疹が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。

[P337+P313] 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受ける。

保管：

[P403+P233] 換気の良い場所で保管する。容器を密閉しておく。

[P405] 施錠して保管する。

廃棄

[P501] 内容物や容器、包装は、許可を受けた専門業者に処理を委託する。

### 3. 組成および成分情報

化学物質または混合物の区別：混合物

化学名：一成分形ホ<sup>o</sup>リウレン樹脂系接着剤

成分および含有量：

メレンピ<sup>s</sup>(4,1-フェニル)ジ<sup>o</sup>イシアネート (CAS 番号：101-68-8) 28%

### 4. 応急措置

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪いとき、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合：

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水またはシャワーで洗う。

多量の水と石けんで洗う。直ちに医師に連絡する。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズ<sup>g</sup>を着用していて、容易に外せる場合は外す。

その後も洗浄を続ける。直ちに医師に連絡する。

飲み込んだ場合：

口をすすぐ。無理に吐かせない。

直ちに医師に連絡する。

応急措置をする者の保護：

救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

消火剤：粉末、二酸化炭素、水噴霧、砂、泡。

特有の危険有害性：引火性。可燃性物質。

特有の消火方法：ガスの滞留しない場所で、風上より消火する。漏えい防止の処置を施す。

消火作業者の保護：

空気呼吸器、耐熱性防護服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

危険な場所を隔離、無関係者および保護具未着用者の出入りを禁止する。

漏えい場所を換気する。漏えい物に触れない。漏えい場所を歩行しない。

作業者は適切な保護具（8. ばく露防止および保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：

環境中に放出しない。希釈水も汚染を引き起こすおそれがある。

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

封じ込めおよび浄化方法と機材：

漏出物を取り扱うとき、用いるすべての設備は接地する。危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる容器に回収する。多量の場合、盛り土等で流出を防いだうえで、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策：

全ての着火源を速やかに取り除く（近傍で喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

床面に残ると滑りやすいので、こまめに取り除く。

## 7. 取り扱いおよび保管上の注意

<取り扱い>

技術的対策：

「8. ばく露防止および保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

「8. ばく露防止および保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取り扱い注意事項：

換気の良い場所で取り扱う。

眼や皮膚、衣類に付着させない。

取り扱いの後にはよく手を洗い、うがいをする。

接触回避：

「10. 安定性および反応性」を参照。

<保管>

安全な保管条件：

保管場所は屋根を金属板やその他の軽量な不燃材料とするとともに、天井を設けない。

保管場所の床は危険物が浸透しない構造とする。ためますを設け、床に適度な傾斜をつける。

保管場所には危険物を貯蔵、取り扱うための採光、照明、および換気の設備を設ける。

「10. 安定性および反応性」を参照。

5～40℃の温度範囲で保管する。日光から遮断する。

容器を密閉して保管する。湿気厳禁。

施錠して保管する。

容器包装材料：

消防法、国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止および保護措置

《メチルピス(4, 1-フェニル)ニジイソシアネート》

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：

日本産業衛生学会 0.05mg/m<sup>3</sup>

ACGIH (2010年) TWA 0.051mg/m<sup>3</sup>

設備対策：

取り扱うとき、換気をする。

本品の取り扱い場所、保管場所の近くには、洗眼および身体洗浄のための設備を備えるとよい。

保護具：

呼吸用保護具 - 有機ガス用防毒マスク

手の保護具 - 保護手袋 (耐油性ゴム手袋)

眼の保護具 - 保護眼鏡 (側板付き普通眼鏡またはゴーグル型)

皮膚および身体の保護具 - 長袖作業衣、安全靴

## 9. 物理的および化学的性質

外観：黄色透明液体。

臭い：なし。

pH：特定できない。

沸点、初留点および沸騰範囲：特定できない。

引火点：210°C (密封式)

燃焼範囲または爆発範囲：特定できない。

比重：1.04

溶解度：水に不溶。有機溶剤に可溶。

粘度：5,000~8,000 mPa·s

## 10. 安定性および反応性

反応性：空気中の水分で反応する。

化学的安定性：通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性：水、空気中の水分と反応する。反応により発熱、二酸化炭素の発生を伴う。

避けるべき条件：湿気。

混触危険物質：水、酸化性物質、その他一般の混触禁止物質。

危険有害な分解生成物：燃焼等による一酸化炭素、窒素化合物、低分子有機化合物。

## 11. 有害性情報

急性毒性：分類できない。

皮膚腐食性または皮膚刺激性：区分2のメチルピス(4, 1-フェニル)ニジイソシアネートを10%以上含むため、区分2。

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性：

区分 2A のメチルピス(4, 1-フェニル)=ジ イソシアネートを 10%以上含むため、区分 2A。

呼吸器感受性：区分 1 のメチルピス(4, 1-フェニル)=ジ イソシアネートを 1%以上含むため、区分 1。

皮膚感受性：区分 1 のメチルピス(4, 1-フェニル)=ジ イソシアネートを 1%以上含むため、区分 1。

生殖細胞変異原性：分類できない。

発がん性：分類できない。

生殖毒性：分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

区分 3（気道刺激性）のメチルピス(4, 1-フェニル)=ジ イソシアネートを 10%以上含むため、区分 3（気道刺激性）。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

区分 1（呼吸器）のメチルピス(4, 1-フェニル)=ジ イソシアネートを 10%以上含むため、区分 1（呼吸器）。

吸引性呼吸器有害性：区分外。

## 12. 環境影響情報

知見はないが、河川や湖沼等に流入した場合、水生生物に影響が出る場合が考えられる。

本品や本品を使った器具等の洗浄水は、河川や排水溝等には直接流さない。

## 13. 廃棄上の注意

内容物や容器は、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国内規則：

陸上規制情報：消防法の規定に従う。

海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報：航空法の規定に従う。

国際規則：

国連番号：非該当

国際輸送品名：非該当

クラス：非該当

容器等級：非該当

海洋汚染物質：非該当

緊急時応急措置指針番号：155

特別の安全対策：

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項の記載に従う。

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないよう、積み込み、荷崩れ防止を行う。

## 15. 主な適用法令

労働安全衛生法 - 施行令別表第九 - メチルピス(4, 1-フェニル)=ジ イソシアネート

消防法 - 第四類第四石油類 危険等級Ⅲ

毒物および劇物取締法 - 該当しない。

特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）

メチルヒス(4,1-フェニル)シロキサン 第一種指定化学物質 28%含有

## 16. その他

ホルムアルデヒド放散量区分：

日本接着剤工業会室内空気質汚染対策のための自主管理規定 JAIA-012502 F☆☆☆☆

4VOC放散速度基準：

日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-506387 4VOC基準適合

文献：

日本工業規格 JIS Z7253-2012 / JIS Z7252-2014

15107の化学商品（化学工業日報社）

GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構）

本書の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。